

研究課題番号	2-2006
研究課題名	メタン吸収能を含めたアジア域の森林における土壌炭素動態の統括的観測に基づいた気候変動影響の将来予測
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	梁 乃申

1. 委員の指摘及び提言概要

コロナ禍の中で、移動が必要な実測調査は大変であったと思われるが、世界最大規模のチャンバ一観測網の確立・運用、それを用いた土壌 CH₄/CO₂ フラックスと生態系との依存関係に関する地域差を示した意義は大きい。特に、メタンフラックスの吸収速度が過去研究と大きく異なる点や、メタン吸収量の変化が嫌気性菌と好気性菌の分布によって異なる点を見出した点は評価できる。将来予測は機械学習で行われるものと推察するが、その精度に関する考察や今後の課題についての整理が重要である。この手法を、アジア域に限らず、世界で標準化して観測されるよう、あるいは他の地域での測定値と互換性を持たせ、グローバルな収支と予測が可能となることに期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S